

令和3年度第2回専門部会(Web会議)

2021/11/19 18時～18時40分@四国がんセンター on Web

議事録

<議題>

1. アンケート調査「保険薬局を対象としたがん化学療法に関する現状・意識調査」
の学会発表・論文化の報告 四国がんセンター 亀岡
現在国内薬剤師学会、臨床腫瘍学会に演題提出。論文化も進行中。
2. ゲノム研究と治験情報提供について 四国がんセンター 仁科
SCRUM JAPAN の現状報告あり。2014年からSCRUM JAPAN 研究としてGI-
SCREEN がん遺伝子パネル検査(組織)による研究を開始していたが、今回スクリー
ニング研究としては終了することとなった。症例登録への御礼と、フォローアップ
調査については継続するため引き続きご協力をお願いしたい。
四国がんセンターや愛媛大学では第I～III相試験まで、がん腫別ならびに臓器
横断的な治験を多数行っているが、治験の詳細な情報の公開は依頼者側との協
議があるため困難である可能性がある。情報共有の方法について引き続き検討を
継続する。
3. CSTDによるコアリングの調査結果の論文化の報告 愛媛大学 済川先生
現在英文雑誌に投稿中。査読結果待ち。
4. 県内HD曝露調査、ペンタゴン、体験型セミナーの連絡 四国がんセンター 青儀
定期的な県内施設での曝露調査へのご協力、対策のまとめとしてのペンタゴン
作成へのご協力に対し御礼。ペンタゴンは連携協議会において本部会からの
PDCA活動報告として使わせていただく旨報告。ケモ関連スタッフの尿中サイクロフ
オスファミドのパイロット試験実施予定。
曝露体験型セミナーを2022/2/25(金曜日)18時から当院で開催予定。国がん名
誉総長、抗がん剤曝露対策協議会理事長の垣添忠生先生のご講演もあり、各ご施
設からの多数のご出席をお願いしたい。

5. IT 技術を用いた「在宅がん患者の副作用管理ツール」の開発・運用

愛媛大学 薬師神先生

愛媛大学で irAE についてパイロット試験を展開されていた IT を用いた「在宅がん患者の副作用管理ツール」を、県全体で使っていただきたい。愛媛大学倫理委員会で中央 IRB として承認得られれば 2022 年春あたりで、研究内容、アクセス方法が各施設で利用できる見込み。

当部会としても、非常に興味深いモダリティで、各施設での導入検討を依頼した。

以上。